

舟山やすえ レポート

www.y-funayama.jp



発行元：舟山やすえ事務所

〒990-0039
山形県山形市香澄町3丁目2番1号
山交ビル8階
TEL：023-627-2780
FAX：023-674-0278

2019年 Vol.21
5月1日号

※参院選に向け、後半国会でも徹底審議を！

「令和」時代の幕開け。政治も新たな道を！



「平成」が終わり、新しい時代、「令和」が始まりました。

4月末の国民民主党と自由党との合流は、野党連携の第一歩として、大いに期待しているところです。

私も、気持ちも新たに、明るく元気に前向きに、あらゆることに取り組んでいきたいと思います。

さて、ゴールデンウィークが明けるといよいよ後半国会が始まります。

前半国会では、「統計不正問題」が大きな議論となり、2018年の実質賃金が実はマイナスだったという「偽装疑惑」が、厳しく追及されたところですが、ここに来て、いよいよ本格的にアベノミクスの成否が問われはじめています。

「次(7月)の日銀短観をよく見て、これは本当にこの先危ないぞというところが見えてきたら、崖に向かってみんなを連れて行くわけにはいかない」と、

景況感次第で消費増税の延期の可能性もあり得るとの発言が、安倍総理側近から飛び出してきました。

これでは、**与党自らがアベノミクスの失敗を認めているも同然**です。

7月の日銀短観の結果を待つまでもなく、4月の短観においても大企業の景況感は大幅に悪化、その下げ幅は2012年12月以来、6年3ヶ月ぶりとなりました。

加えて、内閣府発表の「景気動向指数」においても、1月の基調判断を「下方への局面変化」に引き下げ、まもなく発表される3月の判断は、「悪化」に転じるのではないかとの見方が多数を占めているようです。

もはや、**アベノミクスの失敗は隠したくても隠し切れない状況**となっています。

令和初の国政選挙となる7月の参議院選挙で、安倍政治にNO！を突きつけるべく、徹底審議の環境作りに、国対委員長として全力を尽くします。

はが道也ダッシュ号、県内一周「なんとがさんなね!キャラバン」

平成最後の2日間(4/29・30)、「はが道也ダッシュ号」による「県内一周『なんとがさんなね!キャラバン』」を行いました。

29日に晴天の米沢を出発、初日は日焼けを心配しながらの活動でしたが、30日は一転、小雨の降りしきる寒ーい1日となりました。

途中、最上川船番所で、船頭さんから「最上川舟唄」を歌っていただいたり、雨の中、各地でお集まりいただいたり、沢山の皆様の温かさ、はが道也に対する期待の大きさに触れた、2日間でした。



国土交通委員会、様々な課題について解決策を徹底議論



3月12日 大臣所信に対する質疑

被災時の災害復旧の迅速化や所有者不明土地の問題解決のためにも、**地籍調査を推進すべき**ことを訴えました。

また、昨年11月の質疑に引き続き、**首都圏空港の機能強化や横田空域の返還**について、政府の取り組み状況を質しました。

さらには、**小水力発電**のポテンシャル調査や河川流量調査の実施状況と、調査結果をどのように事業化につなげていくかを質するとともに、**河川のエネルギー利用を後押し**するために、水利権のさらなる柔軟化や、河川法の目的への「エネルギー利用」の追加を行うべきと提案しました。

3月20日 平成31年度予算案 委嘱審査

米国から中国・韓国などのアジア諸国へと我が国の貿易額がシフトしている現状を指摘しつつ、東京一極集中を是正する必要性を訴え、発展を続けるアジアとの玄関口として、**酒田港を始めとする日本海側の港湾の機能強化**に向けた予算拡充を訴えました。

また、4月に本格運用開始の**建設キャリアアップシステム**について、300万人もの建設技能者が対象となるデータベースの適切な運用体制を確保すべきことや、技能の見える化により、優秀な技能者の引き抜きにもつながる懸念があることを指摘した上で、民間主体の制度とはいえ、国としても十分に配慮していくことを要請しました。

4月18日 アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律案 審議

アイヌの方々が誇りを持って「私はアイヌです」と言えるような**共生社会の実現**を目指して、法律がしっかりと機能するようにという願いを込めて、様々な課題解決策を提案し、衆議院よりも充実した附帯決議をつけることができました。質疑後、多くのアイヌの皆様から感謝の言葉をいただきました。

南陽後援会主催 舟山やすえ国政報告会

国政における状況や、山形市の中核市移行記念式典時の出来事などにも触れながら、一部の政治家からの脅しに屈することなく、お上から施しを受けるという意識から脱却して、地域に住む私たちが、地域に本当に必要なものは何かを考え、声を上げていくことが大事だというお話をさせていただきました。

付度政治を変えていくためにも、7月の参議院選挙は大事です。



芳賀道也さんを擁立し、活発に活動していますが、「今の政治、なんとがさんなね！」という思いを皆さんにも聞いていただき、ご支援をいただけることになりました。

国政報告会を主催していただき、また、多くの皆様にご参加いただきましたことに、心から感謝申し上げます。

